

「統計データを取り込んだ後の計算機能の使い方が分かりません」

以下のような手順で計算機能を使うことができます。

まず、必要な地域の統計データを取り込み(この場合は横浜市と川崎市)、「統計データ計算」メニューをダブルクリックします。

上記のような統計データの計算メニューウィンドウが開きます。

<計算例：総人口に対する10代の割合>

- ①「10～14歳人口総数」と「15～19歳人口総数」を選択
- ②「÷」を選択
- ③「総人口」を選択
- ④「計算実行」ボタンをクリック
- ⑤ ティーンエイジャー率がメニューに加わります。

ダブルクリック

先ほどまで統計データには無かった指標が表示されます

- ▶ 共同住宅世帯数
- ▶ 民営借家世帯割合
- ▶ 一戸建世帯割合
- ▶ 長屋建世帯割合
- ▶ 共同住宅世帯割合
- ▶ 1世帯当たり延べ面積
- ▶ 就業者総数
- ▶ 就業者男
- ▶ 就業者女
- ▶ 第1次産業就業者総数
- ▶ 第2次産業就業者総数
- ▶ 第3次産業就業者総数
- ▶ 昼間人口総数
- ▶ 昼間人口男
- ▶ 昼間人口女
- ▶ ティーンエイジャー率

TakumiMapに搭載されている統計データを組み合わせることにより、新しい統計データ指標を作ることが出来ます。また、その指標は既存の統計データ同様、リストビューにも反映されますので、様々な用途が広がります。一度お試しください。